

平成15年11月7日

報道用資料

## スパリゾートハワイアンズのメインショー、 37年ぶり大幅リニューアル

常磐興産株式会社  
スパリゾートハワイアンズ

常磐興産株式会社（本社：福島県いわき市、社長：斎藤一彦）が経営する「スパリゾートハワイアンズ」（福島県いわき市）は、平成15年（2003年）10月23日メインイベントとして開業以来37年間たくさんの皆様方に親しまれてきた「グランドポリネシアンショー」を大幅にリニューアルしました。

様々な変革により常に地域と共に進化してきた「スパリゾートハワイアンズ」では、経営母体「常磐興産株式会社」の本店所在地移転を機にメインショーである「グランドポリネシアンショー」をも大幅変革しました。

タイトルは「ポリネシアの夜明け - Polynesian Sunrise - 」。特殊照明機材等を採用することにより、光と空間の要素を大幅に取り入れ、壮大なショーに演出されています。輝く「レーザー」、縦横無尽に動き回る「ムービングライト」のまばゆい光、飛び交う「サウンド」、「光」、「音」、「空間」によって伝統的民族舞踊が「驚き」と「感動」の新たなるステージへと進化しました。また、ポリネシアンショーの大幅リニューアルを記念し、期間限定で「空中浮遊」のシーンを挿入。ポリネシアの踊りとの空中アクロバットの見事なコラボレーションを実現しています。

「空中浮遊」シーンの出演は、ロシア国立ポリショイサーカスから特別に招聘した「ターニャ&サーシャ」。平成16年1月12日までの限定出演です。

「新グランドポリネシアンショー」の経過と概要は次の通りです。

## ポリネシアンショーの経過

スパリゾートハワイアンズのポリネシアンショーの歴史は昭和 30 年代に遡ります。

「常磐ハワイアンセンター（現在のスパリゾートハワイアンズ）」が生まれるまで

「黒いダイヤ」。かつて「石炭」はこう呼ばれておりました。

本州最大の炭田を擁していた常磐炭礦株式会社（常磐興産の前身）は、国の基幹産業を担う自信と活気に満ちあふれ、石炭城下町であった現在のいわき市常磐地区も、戦前から戦後にかけて毎日がお祭りのような賑わいを呈しておりました。

しかし、昭和 30 年代後半、エネルギーの主役は石炭から石油に進化し、状況は一変しました。石炭産業は没落の一途をたどり、同時に石炭に依存していた「いわき」の経済にも極めて大きな影響を与えたのです。

その時、救世主となったのは炭坑内から尽きることなく湧き出ている「温泉」の存在でした。この温泉は、掘削の妨げとなり、劣悪な労働環境や生産力ダウンをもたらす“負”の資源であり、石炭を 1t 掘り出すために 40t の温泉を汲み出すほどで、当時一日の湧出量は、日本の総人口に毎日一合（0.18 リットル）の温泉を分配できる程の量だったといえます。

常磐炭礦株式会社は、企業の存続と斜陽化する地域経済の再生を目指し、新業種への参入を模索。「坑内から湧出する温泉の地熱と、豊富な湯量を利用すれば、東北の地でも一年間温暖な空間が創出できる」として、昭和 38 年に「温泉レジャー施設」の建設計画を発表したのです。つまりマイナスの資源をプラスに転じる発想、これがすべてのスタートとなりました。

「ポリネシアンショー」の船出

「温泉レジャー施設」の売り物として考えられたのは、暖かさを象徴するもの「熱帯樹とフラダンス」、そしてハワイの雰囲気でした。炭硯跡地に日本で初めてのテーマパーク・日本のハワイ「常磐ハワイアンセンター」を開業する、周囲の度肝を抜く大胆な発想でした。

「日本のハワイ」の心臓部であったのが、「フラダンス」更には「ポリネシア」の島々の民族舞踊です。

そのため創業を一年前に控えた昭和 40 年 4 月、日本初のフラダンス、ポリネシアン民族舞踊の学校『常磐音楽舞踊学院』を設立（昭和 43 年 12 月に福島県知事認可の各種学校となる）、一期生 20 名がエンタテイナー育成のために集結されました。

「炭硯人の血を受け継いで、炭硯の空気の中で育ってきた人が踊ることによって、この目的が達せられる」「松竹や宝塚のショーを真似ようと思うな。少女歌劇やレビューを見たい人は東京か神戸に行けばいい。ハワイアンセンターは、ここでしか見られないショーを上演する」この精神に基づき、一期生は炭硯関係者の子女ばかり。そしてほとんどが踊りの経験すらない素人。そして、まだまだフラダンスが一般的でなかったころのこと。多感であった彼女達は「腰振りダンス！」「ヘソを出して踊るなんて！」という周囲からの冷やかな視線を浴びながらも、必死に民族舞踊の習得に取り組みました。

それは常磐炭砒、炭砒関連企業従事者、更には地域経済の将来という重い荷物を背負った厳しい船出でした。「重厚長大」と呼ばれた高度成長の時代背景の中、まさに国策としての第一次産業、「炭砒」産業が、末端のお客様相手の「観光」産業へ衝撃的に事業を転換したことは、極めて稀有な例として社会的に大きな注目を浴びたことは言うまでもありません。昭和40年12月6日、東京大手町のサンケイホールで昼夜2回行われた「常磐音楽舞踊学院旗揚げ公演」にはそれぞれ2,000名を超えるお客様が押し寄せ、入場をお断りする状態であったといえます。

こうして昭和41年1月の開業以来、ハワイアンズ最大の呼び物である「ポリネシアンショー」は、その日本における先駆けとしてスタートして以来、38年間一度も途絶えることなく続けられ、開業以来延べ4千6百万人ものお客様に南の島へのあこがれと夢、そして感動を与えてきました。

\* 常磐音楽舞踊学院のおもな歩み

昭和40年4月	常磐 上浅貝	常磐音楽舞踊学院設立、初代理事長 中村 豊
昭和40年12月	東 京	産経ホール、常磐音楽舞踊学院 旗揚げ公演
昭和41年1月	常磐 藤原町	常磐ハワイアンセンターオープン
昭和41年6月	学 院	日本音楽協会会長 紙 恭輔先生顧問に委嘱
昭和41年9月	東 京	後樂園、都市対抗野球大会、応援特別賞受賞
昭和42年8月	学 院	女子音楽科新設
昭和43年12月	学 院	学校教育法に基づく各種学校として福島県知事の認可
昭和44年10月	学 院	歌謡科新設（歌謡曲、民謡）
昭和45年6月	東 京	NHK 歌の祭典に出演
昭和46年12月	東 京	NHK 紅白歌合戦に出演
昭和47年3月	東 京	日本武道館「世界の踊り」に出演
昭和48年3月	東 京	NHK 「ワンマンショー」石原裕次郎さんと出演
昭和48年11月	沖 縄	海洋博、ポリネシアンショー出演
昭和52年12月	東 京	日劇、東西対抗歌謡合戦出演
昭和53年9月	東 京	九段、東京学生ハワイアン大会出演
昭和61年7月	東 京	パレスホテル バッキー白片さんと共演
昭和62年3月	上 野	上野駅、国鉄民営化 フラ出演
平成2年3月	ハワイアンズ	スパリゾートハワイアンズへ名称変更 スプリングパークオープン
平成7年12月	ハワイアンズ	ハワイアンズマジックショー開始
平成8年7月	ハワイアンズ	ポリネシア文化センタージョイントショー開催

## 5つの温泉テーマパーク・遊びきれない温泉大陸「スパリゾートハワイアンズ」へ

炭鉱から労働者600人を移籍し、まさに素人による手づくりでスタートしたレジャー施設は、話題性も手伝って成功を収めました。

「ハワイ」、「南国」を基盤としながらも、最大の経営資源である「温泉の活用」をキーワードに多くの施設展開を遂げたのです。

平成2年には「つかる」だけの温泉の概念を脱し、日本で初めて水着で入浴して温泉と遊ぶ「スプリングパーク」を開業。同時に、施設名を「常磐ハワイアンセンター」から「スパリゾートハワイアンズ」と改称。平成9年には江戸の銭湯文化をテーマとした日本最大の大露天風呂「江戸情話 与市」、平成11年には温泉を活用し「健康と美」を追求する施設「ウイルポート」、さらに平成13年には新しい感覚の屋外温泉施設「スパガーデンパレオ」等、話題性あふれた施設を次々と開業させ、既存の「ウォーターパーク(屋内温泉プール)」と併せて、5つの施設を持つ国内最大の「温泉テーマパーク」に進化しました。

バブル崩壊後、一時下降線を辿った入場人員は、進化と共に平成8年度以降右肩あがりの上昇に転じ、平成15年には145万人にも達しようとしております。全国の大型テーマパークや老舗の遊園地などが次々と閉鎖される昨今、温泉テーマパーク「スパリゾートハワイアンズ」は三世代のお客様が手軽に利用できる癒しと遊びの施設として、ますます利用者の心をつかんでいます。

「炭鉱から観光へ」の大胆な方向転換により事業再生を果たした「スパリゾートハワイアンズ」は、東北を代表する観光地の一つとなりました。地域に与える経済効果も甚大で、平成14年「スパリゾートハワイアンズ」による経済波及効果は約300億円、雇用創出効果は約4,000人を数えます。相乗効果で地域経済も潤い、「いわき」は炭坑の町から東北を代表する観光の町へと再生していったのです。

「サンシャイン・いわき」と呼ばれるほど年間日照時間が非常に長く温暖で、東北の湘南と呼ばれる「福島県いわき市」。「スパリゾートハワイアンズ」、そしてそのメインショー「ポリネシアンショー」はその南国ムードの象徴として常に話題を提供しております。

## 地域との一体化、そして「ポリネシアンショー」新たな進化へ

本年8月1日、ハワイアンズの経営母体「常磐興産株式会社」は、更に地元経済と一体化した観光事業推進により地域全体の発展に貢献すべく、前身の「常磐炭礦株式会社」から続いた本店所在地を、東京都中央区から「スパリゾートハワイアンズ」がある福島県いわき市へと移転しました。

様々な変革により常に地域と共に進化してきた「スパリゾートハワイアンズ」、本社移転を機にメインショーである「夜のポリネシアンショー」をも大幅変革。特殊照明機材等を採用することにより、光と空間の要素を大幅に取り入れ、壮大なショーを演出します。

輝く「レーザー」、縦横無尽に動き回る「ムービングライト」のまばゆい光、飛び交う「サウンド」、「光」、「音」、「空間」によって「伝統」的民族舞踊が「驚き」と「感動」の新たなステージへと進化しました。

ウォーターパーク・ドームの大空間で繰り広げられる、全く新しいポリネシアンスペクタクルの誕生です。

## 「ポリネシアの夜明け」 - Polynesian Sunrise -

自然のものすべてに神が宿っていると信じているポリネシアの人々は、水平線のかなたから昇る「太陽」に祈りを捧げ、踊りを捧げます。「太陽」の光の移ろい、「日の光」はポリネシアの島々に多くの恩恵をもたらします。

うっそうと茂る南国の木々、咲き乱れる美しい花々、  
大海の恵み、  
自然への恐れと敬い、  
そして戦い、  
しかし、いつでも陽気で明るい人々

島々を太陽の光が照らし出すとき、「ポリネシアの夜明け」 - Polynesian Sunrise - がはじまります。

踊りだけでなく、光だけでなく、音楽だけでなく、ステージの楽しさをすべて盛り込んだポリネシアを超えたポリネシアンエンタテインメント。本場ハワイでも決して見ることのできない世界最高峰の「ポリネシアンショー」、それがスパリゾートハワイアンズの夜のポリネシアンショー「グランドポリネシアンショー」です。

「ポリネシアの夜明け - Polynesian Sunrise - 」 新たなる進化がスタートします。

今回、ポリネシアンショーの大幅リニューアルを記念して、期間限定で「空中浮遊」のシーンを挿入。ウォーターパーク・ドーム大空間を、大音響とともに神々しく浮遊する場面は絶対に見逃せません。

ポリネシアの踊りとの空中アクロバットの見事なコラボレーション。まったく新しい感動と驚きです。

「空中浮遊」シーンの出演は、ロシア国立ポリショイサーカスから特別に招聘した「ターニャ&サーシャ」。平成16年1月12日までの限定出演です。

## 新ポリネシアンショーの概要

1. 名称      グランドポリネシアンショー  
                 「ポリネシアの夜明け - Polynesian Sunrise- 」
2. 開始日      平成15年10月23日(木)
3. 開催時間      午後8時10分より午後9時00分  
                 \*ハワイアンズの入場料のみでご観覧いただくことができます
4. スタッフ      制作：スパリゾートハワイアンズ  
                 監修：カレイナニ早川(常磐音楽舞踊学院最高顧問、全日本フラ協会会長)  
                 構成、演出、振付：レイモミ小野(常磐音楽舞踊学院教授)  
                 出演：スパリゾートハワイアンズダンシングチームほか
5. 構成      **第1章      タヒチの光《I a o r a n a ! ・ 歓迎の踊り》**  
                 I a o r a n a ! .....タヒチ語で「こんにちは」の意味
- 第2章      太陽のフラ《ハワイの花々》**  
                 クウレイマイレ  
                 レイプアケニケニ  
                 プアオレナ  
                 パウオアリコカレファ
- 第3章      フラ体験《地引き網の踊り》**  
                 フキラウソング
- 第4章      ハワイの伝説《火の女神ペレと古典フラ》**  
                 キラウエア  
                 アイアラオペレ  
                 \* 空中浮遊.....ターニャ&サーシャ(国立ポリショイサーカス所属)  
                 平成16年1月12日(日)までの特別出演  
                 カワヒネオカルア
- 第5章      ポリネシアの光《南太平洋の島々の踊り》**  
                 ニュージーランド  
                 サモア  
                 タヒチ  
                 サモア・ファイヤーナイフ・ダンス
- フィナーレ**

**この件に関するお問い合わせ先**

常磐興産株式会社スパリゾートハワイアンズ

広報担当 : いがりみつのり 猪狩光訓・すずきえいすけ 鈴木英輔

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3 - 7 - 19

TEL 03 - 5623 - 0026

FAX 03 - 5623 - 1656

URL <http://www.hawaiians.co.jp>